第 6 章

デジタル写真の印刷

印刷の種類

デジタル写真プリントでは、デジタルカメラで撮った写真で次のような印刷ができます。

●選んでプリント

L判（フチなし、日付あり）　L判（フチあり）

次のような設定ができます。
・フチあり/なし
・日付あり/なし
・カラー/白黒/セピア

●インデックスプリント

●コメントプリント

ママと二人で公園へ
お散歩

●シールプリント

●その他
・DPOFプリントができます。
・PictBridge接続でプリントできます。

選んで印刷する（選んでプリント）

メモリーカードの中から好きな写真を選んで印刷（選んでプリント）できます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

2 ︿﹀＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 ︿﹀＜＞で「選んでプリント」を選び、[実行]を押します。

写真の一覧が表示されます。

※デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
※サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、プレビューで写真が表示されている場合は、印刷できます。
※写真が1000枚以上ある場合は、すべての写真を取り込むことができません（最大で999枚まで）。
※動画は表示されません。

4 ︿﹀＜＞で印刷したい写真を選び、[実行]を押します。

印刷の枚数を設定できるようになります。

写真の番号を入力して選ぶこともできます。

5 数字キーまたは＜＞で枚数を指定し、[実行]を押します。

[プリント]を押す前に[プレビュー]を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。[はっきりズーム]を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、再度[プレビュー]を押すか[取消し]を押してください。

枚数は、1枚の写真につき99枚まで設定できます。

ほかの写真に枚数を設定する場合は、手順4から5を繰り返してください。

6 [プリント]を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます

7 ＜＞で用紙サイズを選び、[プリント]を押します。

印刷設定の画面が表示されます。

8 ︿﹀で設定する項目を選びます。

「設定する項目」
▶▶ 156ページ

9 ＜＞で設定する内容を選びます。

10 [機能]を押します。

印刷詳細設定の画面が表示されます。
設定を変更する必要がなければ、そのまま手順14に進みます。

11 ︿﹀で設定する項目を選びます。

12 ＜＞で設定する内容を選びます。

● 印刷設定画面の設定項目（選んでプリント）

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判タブ、L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶29ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「なし」で印刷するときは、「タブ付き」の用紙（29ページ）を使用すると、よりきれいに印刷することができます。 ※「あり」で印刷すると、写真（画像）のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしを設定します。 なし：日付を印刷しません。 あり：日付を印刷します。 ※データ自体に日付に関する情報がない場合は、日付を印刷することはできません。
日付の色	日付の色を設定します。 ＞を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色を設定します。 ＞を押すたびに、カラー→白黒→セピアの順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。

13 すべての設定が終わったら[実行]を押します。

印刷設定画面に戻ります。

14 [プリント]を押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

15 用紙をセットします。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセット」
▶▶ 30ページ

16 [実行]を押します。

写真の印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要
・印刷を中止するときは、[取消し]を押します。
・「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

すべての写真を同じ枚数印刷するとき

印刷する枚数をすべての写真に一括で設定することもできます。

① **写真の一覧が表示されている画面で、[機能]を押します。**
枚数一括指定画面が表示されます。

② **＜＞で枚数を指定し、[実行]を押します。**
すべての写真の枚数に、指定した枚数が設定されます。

印刷枚数の設定について

印刷する枚数の設定は、数字キーで直接数字を入力する設定のしかたもあります。数字は必ず2桁で入力してください。

例 8枚のとき：[0][8]

印刷時の余白について

本機の印刷では、用紙に約12ミリの余白ができます。

縦向き　横向き

用紙の挿入方向 ↓
←用紙の挿入方向
約12ミリ

※タブ付きの用紙をご使用になり、印刷後にタブを切り取ると余白のない「4辺フチなし」の印刷ができます。

一覧を印刷する(インデックスプリント)

デジタル写真プリントでは、写真の一覧を印刷(インデックスプリント)できます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

2 ⌃⌄<>でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 ⌃⌄<>で「インデックスプリント」を選び、[実行]を押します。
用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

4 <>で用紙サイズを選び、[プリント]を押します。
印刷設定の画面が表示されます。

5 ⌃⌄で設定する項目を選びます。

「設定する項目」
▶▶ 159ページ

6 <>で設定する内容を選びます。
※インデックスプリントでは、「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

7 設定が終わったら[プリント]を押します。
用紙セットのメッセージが表示されます。

8 用紙をセットします。
印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセット」
▶▶ 30ページ

9 [実行]を押します。
インデックスプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要 印刷を中止するときは、[取消]を押します。

● 印刷設定画面の設定項目(インデックスプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判タブ、L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 29ページ
写真番号	写真番号をつける/つけないを設定します。 つける：写真番号をつけて印刷します。 つけない：写真番号をつけないで印刷します。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。

デジタルカメラの設定にしたがって印刷する(DPOF印刷)

DPOF(Digital Print Order Format)対応のデジタルカメラなどでは、DPOF機能によりカメラ側で印刷する写真や、印刷する枚数の指定ができます。

●扱える写真のデータ
本機のDPOF機能で印刷できる写真は、DPOF対応デジタルカメラなどで撮影した写真で以下の条件を満たすものです。

(1) DCF Exif2.1(JPEG準拠)
(2) 対応ファイルサイズ　6MB以下
(3) 最小画素数　160 × 120 ピクセル

●DPOF機能で有効な設定
デジタルカメラや携帯電話で設定した以下の内容
・通常印刷(用紙に写真を一枚印刷)する写真の指定
・印刷枚数
・日付印刷の設定(本機側から文字色の指定ができます)。

重要 デジタルカメラ側の設定方法や、設定できる機能は、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

※DPOFで写真をコメントプリントやシールプリントすることはできません。
※写真のトリミング・回転などをデジタルカメラや携帯電話で設定していても、DPOF印刷時は無効になります。
※印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。

※DCF規格対応の携帯電話でも、撮影時の操作方法によってはDCF規格とは異なるフォルダー構成下に写真データが保存される場合があります。このような写真は本機では印刷することはできません。撮影した写真がDCF規格に準拠した形式でメモリーカード内に保存されるように操作してください。詳しくはご使用になる携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

2 ⌃⌄<>でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。

3 ⌃⌄<>で「DPOFプリント」を選び、[実行]を押します。
用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

4 <>で用紙サイズを選び、[プリント]を押します。
印刷設定の画面が表示されます。

5 ⌃⌄で設定する項目を選びます。

「設定する項目」
▶▶ 162ページ

6 <>で設定する内容を選びます。

7 [機能]を押します。
印刷詳細設定の画面が表示されます。
設定の変更の必要がなければ、そのまま手順11に進みます。
※ここでは「フチのあり/なし」と「日付の色」が変更できます。

8 ⌃⌄で設定する項目を選びます。

9 <>で設定する内容を選びます。

「設定する項目」
▶▶ 162ページ

10 すべての設定が終わったら[実行]を押します。
印刷設定画面に戻ります。

11 [プリント]を押します。
用紙セットのメッセージが表示されます。

12 用紙をセットします。
印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセット」
▶▶ 30ページ

13 [実行]を押します。
DPOFプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要 ・印刷を中止するときは、[取消]を押します。
・「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

● 印刷設定画面の設定項目（DPOFプリント）

設定項目	設定内容
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。 L判タブ、L判、10×15タブ、はがき、A6から選びます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 29ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「なし」で印刷するときは、「タブ付き」の用紙（29ページ）を使用すると、よりきれいに印刷することができます。 ※「あり」で印刷すると、写真（画像）のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり／なしは、「設定に従う」に設定され、常にデジタルカメラ側での設定内容に従います。
日付の色	日付の色を設定します。 （＞）を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。 （＜）を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色は「カラー」に設定されます。

写真に文字を入れて印刷する（コメントプリント）

デジタル写真プリントでは、写真に文字を合成して印刷することができます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

2 （∧）（∨）（＜）（＞）でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、［実 行］を押します。

3 （∧）（∨）（＜）（＞）で「コメントプリント」を選び、［実 行］を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

※用紙サイズは「L判タブ」と「はがき」の2種類のみとなります。

4 （＜）（＞）で用紙サイズを選び、［実 行］を押します。

写真の一覧が表示されます。

5 （∧）（∨）（＜）（＞）で写真を選び、［実 行］を押します。

6 写真の範囲、向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順7に進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 129ページ

7 ［実 行］を押します。

完成画面が表示されます。

8 （機 能）を押します。

9 （∧）（∨）で「コメントの追加」を選び、［実 行］を押します。

文字の方向とサイズを設定する画面が表示されます。

10 （∧）（∨）で設定する項目を選びます。

11 （＜）（＞）で設定する内容を選びます。

「設定する項目」
▶▶ 165ページ

12 設定が終わったら［実 行］を押します。

文字入力の画面が表示されます。

13 文字を入力します。

「文字入力」
▶▶ 39ページ

14 入力が終わったら、［実 行］を押します。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

15 （＜）で「はい」を選び、［実 行］を押します。

入力した文字の位置を設定する画面が表示されます。

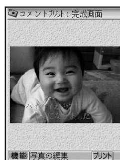
青色の枠が文字の位置で、△が文字の向きを表しています。

16 操作ガイドにしたがって文字の向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順17に進みます。

※コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。

17 文字の位置を確認して、［実 行］を押し、確定します（確定すると編集はできなくなります）。



完成画面が表示されます（完成画面になると、文字の編集はできなくなります）。

（機 能）を押して、写真の色を変えることもできます。

また、コメントはいくつでも追加することができます。

（プレビュー）を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。（はっきりズーム）を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、（取消し）を押してください。

18 （プリント）を押します。

印刷設定の画面が表示されます。

19 印刷する部数／紙質／印字タイプを設定して、（プリント）を押します。

「設定する項目」
▶▶ 165ページ

※「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

20 用紙をセットします。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

「用紙のセット」
▶▶ 30ページ

21 ［実 行］を押します。

コメントプリントが始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重 要
・印刷を中止するときは、（取消し）を押します。
・作成したコメント入り写真は登録できません。必ず、作成後に印刷を行ってください。

● 文字設定の設定項目（コメントプリント）

設定項目	設定内容
文字方向	「縦書き」か「横書き」を指定します。
文字サイズ	コメントの文字サイズを指定します。サイズによって入力できる文字数と行数が決まります。 ・L判タブの場合 小　：25文字×19行 標準　：21文字×16行 やや大：15文字×12行 大　：10文字×8行 極大　：5文字×4行 ・はがきの場合 小　：28文字×22行 標準　：23文字×18行 やや大：17文字×14行 大　：11文字×9行 極大　：5文字×4行

● 印刷設定画面の設定項目（コメントプリント）

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判タブ、はがきから選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶29ページ
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0〜99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり（印字品質）を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

重 要 コメントプリントで印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ（大きさを変える）などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

写真をシールに印刷する(シールプリント)

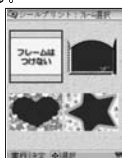
写真にフレームをつけてシールに印刷できます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。
「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

2 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。



3 [∧][∨][<][>]で「シールプリント」を選び、[実行]を押します。
フレームの種類を選ぶ画面が表示されます。



4 [<][>]でフレームを選び、[実行]を押します。

5 [∧][∨][<][>]で写真を選び、[実行]を押します。



6 写真の範囲、向き、位置を調整します。
調整する必要がなければそのまま手順**7**に進みます。
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 129ページ

7 [実行]を押します。
完成画面が表示されます。
[プレビュー]を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。[拡大]を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、[取消し]を押してください。



8 [機能]を押します。
写真の色を選ぶ画面が表示されます。
変更する必要がなければ、そのまま手順**10**に進みます。

9 [∧][∨]で色を選び、[実行]を押します。
完成画面が表示されます。

10 [プリント]を押します。
印刷設定の画面が表示されます。

11 印字タイプを設定して、[プリント]を押します。

12 用紙をセットします。
1枚だけシール紙を光沢面を上にしてセットしてください。
「用紙セット」
▶▶ 30ページ

重要 用紙は1枚だけセットしてください。複数枚セットすると、正常に印刷されないことがあります。

13 [実行]を押します。
シールプリントが始まります。印刷が終了すると、シールプリントの完成画面に戻ります。

重要
・印刷を中止するときは、[取消し]を押します。
・シールを一部分剥がしたシール紙を再度使用しないでください。正しく印刷できません。

重要
・シールプリントで印刷できる写真は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。
・シールのフレームと写真は、シール内に余白が入るのを防ぐために切り取り線よりもひと回り大きく印刷されます。写真の一部を切り抜いてシールを作成する場合は、やや大きめに切り抜くと、きれいに配置できます。

デジタルカメラと接続して印刷する

PictBridge対応のデジタルカメラと本機を接続して、直接デジタル写真を印刷できます。

印刷設定をする

1 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。



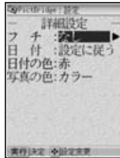
2 [∧][∨][<][>]で「PictBridge設定」を選び、[実行]を押します。
設定画面が表示されます(印刷内容の設定は、本機の設定画面で行います)。



3 [∧][∨]で設定する項目を選びます。

4 [<][>]で設定する内容を選びます。
「設定する項目」
▶▶ 169ページ

5 [機能]を押します。
詳細設定の画面が表示されます。



6 [∧][∨]で設定する項目を選びます。

7 [<][>]で設定する内容を選びます。
「設定する項目」
▶▶ 169ページ

8 [実行]を押します。
設定画面に戻ります。

9 [実行]を押します。
PictBridge設定が終わり、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要 「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

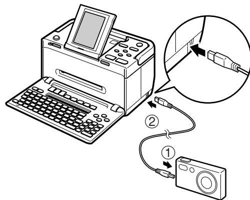
●本機のPictBridge設定画面の設定項目

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判タブ、L判、はがき、10×15タブ、A6から、用紙のサイズを選びます。 「使用できる用紙」 ▶▶29ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「なし」で印刷するときは、「タブ付き」の用紙(29ページ)を使用すると、よりきれいに印刷することができます。 ※「あり」で印刷すると、写真(画像)のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしは、カメラ側の設定に従います(カメラ側に日付の設定機能がない場合は、日付は印刷されません)。
日付の色	日付の色を設定します。 [>]を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白の順で切り換わります。 [<]を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色は「カラー」に設定されます。

印刷の操作

1 本機の電源をONにし、メインメニューを表示させます。

2 デジタルカメラと本機を接続します。接続にはデジタルカメラに付属のUSBケーブルを使用します。
デジタルカメラにUSBケーブルを接続したあと(①)、USBケーブルのもう一方のコネクターを本機のPictBridge用コネクターに接続します(②)。



メッセージが表示されたあと、印刷準備の画面が表示されます。

3 印刷する用紙を本機にセットします。

「用紙のセット」
▶▶ 30ページ

4 デジタルカメラ側で印刷開始の操作をします。
印刷中のメッセージが表示されて、印刷が始まります。印刷が終了すると、印刷準備の画面に戻ります。

※操作手順の詳細はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

5 印刷が終わったら、ケーブルをはずします。
ケーブルを接続する前の画面に戻ります。

PictBridgeに関する注意事項

●本機はパソコンに接続することはできません。

●本機のPictBridge用コネクターにはPictBridge対応のデジタルカメラ以外は接続しないでください。接続すると破損の原因となる場合があります。

●USBコネクターは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

●印刷中はUSBケーブルを抜かないでください。

●デジタルカメラの電源はACアダプターをご使用になることをお勧めします。ACアダプターを使用せずに、デジタルカメラの電池のみで接続する場合は、十分に充電された電池を使用してください。

●ご使用になるデジタルカメラによっては本機とデジタルカメラを接続する前に、デジタルカメラ側をPictBridgeが動作するように設定する必要があります。また、本機とデジタルカメラを接続後、デジタルカメラ側の操作が必要な場合もあります。操作手順の詳細は、ご使用になるデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

●本機は、デジタルカメラ側からの以下の操作に対応しています。
・1枚毎の写真の印刷
・印刷枚数の指定
・全部の写真の印刷
・日付の印刷

MEMO

第7章
データを管理する

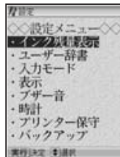
データのバックアップを作成する

作成したはがきの文面、住所録、差出人、外字、ユーザー辞書などのデータを、1つにまとめてメモリーカードに保存できます。万一、データが消失したときは保存しておいたデータを呼び出して、保存したときと同じ状態に戻すこともできます。
なお、バックアップデータとして「約128KBのデータ」をメモリーカードに保存します。

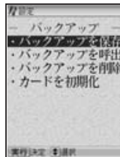
バックアップデータを保存する

バックアップデータをメモリーカードに保存します。メモリーカードの初期化については、177ページを参照してください。

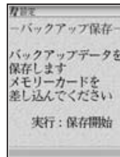
1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「バックアップ」を選び、[実行]を押します。



3 ∧∨で「バックアップを保存」を選び、[実行]を押します。



4 保存用のメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

5 セットしたら、[実行]を押します。
保存が始まります。保存が終わると、確認のメッセージが表示されます。

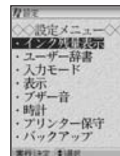
メモリーカードにバックアップデータが入っているときは

メモリーカードに、古いバックアップデータが入っているときは、確認のメッセージが表示されますので、＜＞で「はい」または「いいえ」を選び、[実行]を押してください。
はい：古いデータが削除されて、保存が始まります。
いいえ：保存をしないで、メニュー画面に戻ります。

バックアップデータを呼び出す

メモリーカードに保存したバックアップデータを呼び出して、使うことができます。
なお、このとき、現在本機で作成しているデータはすべて消えてしまいます。一度消えてしまったデータは元には戻りません。ご注意ください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「バックアップ」を選び、[実行]を押します。

3 ∧∨で「バックアップを呼出」を選び、[実行]を押します。

4 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします。

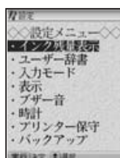
「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

5 セットしたら、[実行]を押します。
呼び出しが始まります。呼び出しが終わると、確認のメッセージが表示されます。

バックアップデータを削除する

メモリーカードに保存したバックアップデータを削除できます。
なお、削除したデータは元には戻りません。ご注意ください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「バックアップ」を選び、[実行]を押します。

3 ∧∨で「バックアップを削除」を選び、[実行]を押します。

4 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

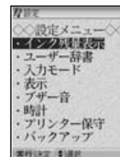
5 セットしたら、[実行]を押します。
削除が始まります。削除が終わると、確認のメッセージが表示されます。

メモリーカードを初期化する

この「メモリーカードの初期化」機能は、お手元のメモリーカードを「本機のバックアップデータの保存専用メモリーカード」にするためのものです。
デジタルカメラで使用するメモリーカードを初期化するときは、必ずデジタルカメラで行ってください。

重要 ・メモリーカードの初期化を行うと、保存されている内容がすべて消えてしまいます。
必要のないときは行わないでください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「バックアップ」を選び、[実行]を押します。

3 ∧∨で「カードを初期化」を選び、[実行]を押します。

4 初期化するメモリーカードをセットします。

「メモリーカードのセット」
▶▶ 23ページ

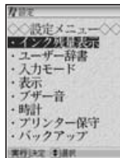
5 セットしたら、[実行]を押します。
初期化が始まります。初期化が終わると、確認のメッセージが表示されます。

よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書：語句)

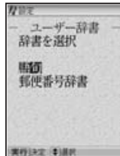
日常よく使う専門用語などを「よみ」とともに登録しておくと、「よみ」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「よみ」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。
なお、工場出荷時にあらかじめ人名や地域名などが登録されています。このデータは、必要に応じて修正できます。

語句を登録する

1 (∧)(∨)(<)(>)でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 (∧)(∨)で「ユーザー辞書」を選び、[実行]を押します。

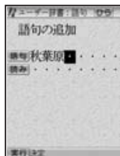


3 (∧)(∨)で「語句」を選び、[実行]を押します。
登録されている単語があるときは、一覧が表示されます。

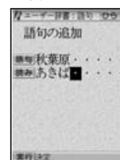
4 [機能]を押します。

5 (∧)(∨)で「追加」を選び、[実行]を押します。

6 (∧)(∨)で「語句」を選び、登録したい単語を入れます。
ここでは、「秋葉原」と入力します。



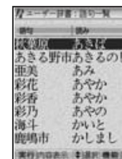
7 (∧)(∨)で「読み」を選び、読みを入れます。



重要 「読み」を選ぶと、入力モードは「かな」になります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

8 語句と読みの入力が終わったら、[実行]を押します。
登録を確認するメッセージが表示されます。

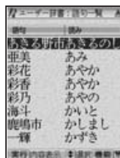
9 (<)で「はい」を選び、[実行]を押します。
登録が終わり、語句の一覧に戻ります。追加した語句が一覧に表示されます。



語句は最大100件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 178ページの手順**1**から**3**の操作をします。
語句の一覧が表示されます。



2 (∧)(∨)で修正する語句を選び、[実行]を押します。
選んだ語句の登録内容が表示されます。

3 [機能]を押します。

4 (∧)(∨)で「修正」を選び、[実行]を押します。

5 (∧)(∨)で「語句」を選び、語句を修正します。

6 (∧)(∨)で「読み」を選び、読みを修正します。

重要 「読み」を選ぶと、入力モードは「かな」になります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

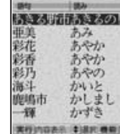
7 語句と読みの入力が終わったら、[実行]を押します。
修正を確認するメッセージが表示されます。

8 (<)で「はい」を選び、[実行]を押します。
修正が終わり、語句の一覧に戻ります。

登録した語句を削除する

削除には、選んだ語句だけを削除するか、すべての語句を削除するかの2つの方法があります。

1 178ページの手順**1**から**3**の操作をします。
語句の一覧が表示されます。選んだ語句だけを削除するときは**2**へ、すべての語句を削除するときは**3**へ進みます。



2 (∧)(∨)で削除したい語句を選び、[実行]を押します。
選んだ語句の登録内容が表示されます。

3 [機能]を押します。

4 (∧)(∨)で「削除」を選び、[実行]を押します。
削除の方法を選ぶ画面が表示されます。

5 (∧)(∨)で「1件だけ削除」または「全ての語句を削除」を選び、[実行]を押します。
削除を確認するメッセージが表示されます。
「1件だけ削除」を選んだときは、選んだ語句が表示されます。確認後、[実行]を押してください。

6 (<)で「はい」を選び、[実行]を押します。
削除が終わり、語句の一覧に戻ります。

語句（ユーザー辞書）の登録件数を確認するには

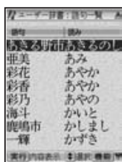
① 178ページの手順**1**から**4**の操作をします。
機能メニューが表示されます。

② (∧)(∨)で「登録件数」を選び、[実行]を押します。
登録件数が表示されます。

ユーザー辞書を初期値（工場出荷時の状態）に戻す

重要 ユーザー辞書を初期値に戻すと、ご購入後に登録や修正した語句の内容が変更されてしまいます。必要のないときは行わないでください。

1 178ページの手順1から3の操作をします。
語句の一覧が表示されます。



2 [機能]を押します。

3 [∧][∨]で「初期値に戻す」を選び、[実行]を押します。
確認のメッセージが表示されます。

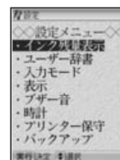
4 [<]で「はい」を選び、[実行]を押します。
ユーザー辞書の内容が初期値に戻り、語句の一覧に戻ります。

郵便番号と住所を辞書に登録する（ユーザー辞書：郵便番号）

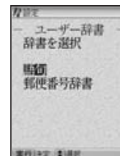
郵便番号辞書に登録されている郵便番号や住所の変更が必要なときは、その郵便番号と住所をユーザー辞書に登録しておくと、郵便番号を入力するだけで呼び出すことができます。

郵便番号を辞書に登録する

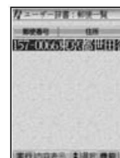
1 [∧][∨][<][>]でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 [∧][∨]で「ユーザー辞書」を選び、[実行]を押します。



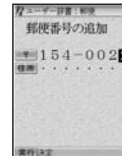
3 [∧][∨]で「郵便番号辞書」を選び、[実行]を押します。
登録されている郵便番号があるときは、一覧が表示されます。



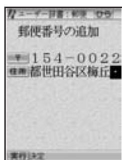
4 [機能]を押します。

5 [∧][∨]で「追加」を選び、[実行]を押します。

6 [∧][∨]で「〒」を選び、登録したい郵便番号を入れます。

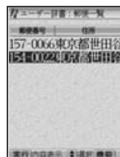


7 [∧][∨]で「住所」を選び、登録したい住所を入れます。



8 郵便番号と住所の入力が終わったら、[実行]を押します。
登録を確認するメッセージが表示されます。

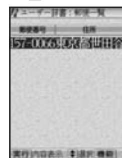
9 [<]で「はい」を選び、[実行]を押します。
登録が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。追加した郵便番号が一覧に表示されます。



郵便番号は最大30件まで登録できます。

登録した郵便番号や住所を修正する

1 183ページの手順1から3の操作をします。
郵便番号の一覧が表示されます。



2 [∧][∨]で修正したい郵便番号を選び、[実行]を押します。
選んだ郵便番号の登録内容が表示されます。

3 [機能]を押します。

4 [∧][∨]で「修正」を選び、[実行]を押します。

5 [∧][∨]で「〒」を選び、修正したい郵便番号を入力します。

6 [∧][∨]で「住所」を選び、修正する住所を入れます。

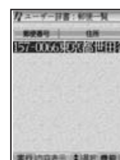
7 郵便番号と住所の入力が終わったら、[実行]を押します。
修正を確認するメッセージが表示されます。

8 [<]で「はい」を選び、[実行]を押します。
修正が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。

登録した郵便番号を削除する

削除には、選んだ郵便番号だけを削除するか、すべての郵便番号を削除するかの2つの方法があります。

1 183ページの手順1から3の操作をします。
郵便番号の一覧が表示されます。選んだ郵便番号だけを削除するときは2へ、すべての郵便番号を削除するときは3へ進みます。



2 [∧][∨]で削除したい郵便番号を選び、[実行]を押します。
選んだ郵便番号の登録内容が表示されます。

3 [機能]を押します。

4 [∧][∨]で「削除」を選び、[実行]を押します。
削除の方法を選ぶ画面が表示されます。

5 [∧][∨]で「1件だけ削除」または「全ての番号を削除」を選び、[実行]を押します。
「1件だけ削除」を選んだときは、選んだ郵便番号が表示されます。確認後、[実行]を押してください。
削除を確認するメッセージが表示されます。

6 [<]で「はい」を選び、[実行]を押します。
削除が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。

郵便番号（ユーザー辞書）の登録件数を確認するには

① 183ページの手順1から4の操作をします。
機能メニューが表示されます。

② [∧][∨]で「登録件数」を選び、[実行]を押します。
登録件数が表示されます。

MEMO

第 8 章

その他の設定

文字の入力方法（入力モード）を切り替える

文字入力には、ひらがなキーで入力する「かな入力」とアルファベットキーで入力する「ローマ字入力」があります。ここでは、入力モードを切り替える方法を説明します。

1 ∧∨<>でメニュー画面から「設定」を選び、[実 行]を押します。

2 ∧∨で「入力モード」を選び、[実 行]を押します。

3 ∧∨で設定したい入力モードを選び、[実 行]を押します。

メニュー画面に戻ります。

画面の明るさを調節する

画面表示の明るさ（コントラスト）を変えることができます。

1 ∧∨<>でメニュー画面から「設定」を選び、[実 行]を押します。

2 ∧∨で「表示」を選び、[実 行]を押します。

3 <>で明るさを調節します。

青色の表示部分が多いほど、画面の表示が淡くなります。

4 調節が終わったら、[実 行]を押します。

メニュー画面に戻ります。

ブザー音を鳴らさないようにする

操作中にエラーが発生するとブザー音が鳴ります。お買い上げ時の設定は「鳴らす」になっています。
ここではブザー音を鳴らさないようにする方法を説明します。
ただし、プリンターエラーのブザー音は、設定の内容に関係なく、常に鳴ります。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実 行]を押します。

2 ∧∨で「ブザー音」を選び、[実 行]を押します。

3 ∧∨で「鳴らさない」を選び、[実 行]を押します。
メニュー画面に戻ります。
鳴らすように戻したいときは、「鳴らす」を選んでください。

時計を設定する

時計の日付と時刻を設定します。時計には、設定した日付と時刻に連動して毎年4月1日00時00分になった時点で、カンタン作成で表示されるはがきのデザインを切り換える役割があります。

例 時計の年が2005に設定されているとき

• 干支を使用しているデザイン

2005年
3月31日23時59分





2005年
4月1日0時0分以降



1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実 行]を押します。

2 ∧∨で「時計」を選び、[実 行]を押します。
日付と時刻を設定する画面が表示されます。

3 ∧∨で設定する項目を選びます。

4 ＜＞で数値を設定します。

5 設定が終わったら、[実 行]を押します。
設定した内容で時計が設定され、メニュー画面に戻ります。

プリンターのメンテナンスをする

「新しいプリントカートリッジを取り付けたとき」や「はがきや写真がきれいに印刷できないとき」に行う操作について説明します。プリンターのメンテナンスには、プリンター調整用の用紙として、L判タブ付き、L判、10×15タブ付き、はがき、A6の大きさで印字面が白い無地の用紙(普通紙)を使用します(このとき、一般の官製はがきに比べて、極端に厚い紙や薄い紙は使用しないでください)。年賀はがきなどの用紙がセットされているときは、別のプリンター調整用の用紙をセットしてから操作してください。

プリンターを調整する

「新しいプリントカートリッジを取り付けたとき」や「印刷結果の色がズレているとき」などに、印刷が正しくできるように調整します。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実 行]を押します。

2 ∧∨で「プリンター保守」を選び、[実 行]を押します。

3 ∧∨で「プリンターの調整」を選び、[実 行]を押します。
用紙セットのメッセージが表示されます。

4 プリンター調整用の用紙をセットします。

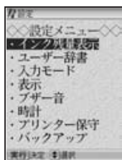
5 [実 行]を押します。
印刷が始まります。

6 印刷結果を確認してください。
緑色の「v」が印刷されていれば調整が正しく行われています。
赤色の「×」が印刷されているときは、もう一度、プリンターの調整を行ってください。再度、「×」が印刷された場合は、プリントカートリッジを交換してください。

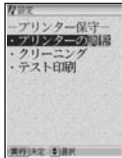
プリントカートリッジをクリーニングする

インクの量は十分残っているのにきれいに印刷されないとき、印刷をしない状態が長期間続いたあとの「デジタルカメラの写真印刷」に白い線や縞模様が現れたときなどに行います。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「プリンター保守」を選び、[実行]を押します。



3 ∧∨で「クリーニング」を選び、[実行]を押します。

ステップ1の用紙セットのメッセージが表示されます。

4 プリンター調整用の用紙をセットします。

5 [実行]を押します。

印刷が始まります。印刷が終わるとステップ1の終了画面が表示されます。

6 印刷の結果を確認して、問題がないときは、[取消]を押します。

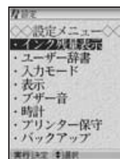
メニュー画面に戻ります。

重要 印刷の結果に問題があるときは、[実行]を押すと、続けてステップ2、ステップ3のクリーニングができます。操作はステップ1と同じです。ステップ3のクリーニングをしても印刷の結果に問題があるときは、またステップ1から繰り返してクリーニングができます。

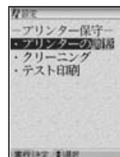
テスト印刷する

試しに印刷をして、印刷の結果を確認したいときに行います。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。



2 ∧∨で「プリンター保守」を選び、[実行]を押します。



3 ∧∨で「テスト印刷」を選び、[実行]を押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

4 プリンター調整用の用紙をセットします。

5 [実行]を押します。

印刷が始まります。印刷が終わるとメニュー画面に戻ります。

6 印刷の結果を確認します。

印刷結果の確認（はがきサイズの紙に印刷したとき）

写真の印刷品質
きれいに印刷されていれば、問題ありません。



プリントカートリッジの状態
白いすじがある場合は、プリントカートリッジをクリーニングしてください（▶▶194ページ）。



インク残量の目安
インクがあとどれくらい残っているかを示しています。

テスト印刷に関する情報
お問い合せのときに、担当者にお伝えください。
※L判、L判タブ付きサイズの紙に印刷したときには、この情報は印刷されません。

MEMO